

# 乳幼児期になったら

## 赤ちゃん訪問

市では、生後4か月までの赤ちゃんのいる全てのご家庭に訪問しています。  
訪問は1時間程度で、市こども家庭課の保健師・助産師・看護師などが訪問します。訪問時には、赤ちゃんの体重等の計測や、発育・発達に応じた育児や産後の母体管理に関するアドバイス、市の事業の案内などを行います。  
※転入者で赤ちゃんがいる家庭へも訪問します。市こども家庭課までご連絡ください。



## 乳幼児健康診査

乳幼児健診は、子どもが健やかに成長・発達しているかを確認する大切な健診です。  
開催日時、場所は対象者個人に通知します。受診時には、母子健康手帳と同封の健診票をご持参ください。



① 4か月児健診 (医療機関での個別健診)	4か月目は、赤ちゃんが成長していく過程で非常に大切な発達をチェックする月齢です。首のすわりや股関節脱臼の有無、追視、神経学的反射などの確認をしていきます。
② 10か月児健診 (医療機関での個別健診)	10か月目は、座位や立位の状況、手先の動きなどをみていきます。また、離乳食の進み具合や身体発育の状況を確認していきます。
③ 1歳6か月児健診 (医療機関での個別健診)	1歳6か月目は、自立心が芽生え、情緒発達も盛んになって感情表現も少しずつ豊かになってきます。また、発達面では、運動機能面(歩行や手の動きなど)や知能面(発語や言語理解など)の発達を確認していきます。
④ 1歳6か月児歯科検診 (歯科医療機関での個別検診)	子どもの歯や口腔内のチェック、ブラッシング指導などを行います。
⑤ 3歳児健診 (カミーリヤでの集団健診)	小児科医による診察、歯科検診、言葉や行動などの発達相談、保育士と管理栄養士による育児相談をご案内しています。

## 育児相談

就学前までの子どもとその家族を対象に育児相談を実施しています。保健師、助産師、管理栄養士が対応します。  
日程や時間については、市ホームページをご覧ください。市こども家庭課までお問い合わせください。

- 場所 市役所



## 離乳食教室

これから離乳食を始めようとしている人の教室です。  
生後4か月から7か月頃の子どもの家族を対象に、離乳食の講話を行っています。  
日程や申し込みについては、市ホームページをご覧ください。市こども家庭課までお問い合わせください。



### 「ハチミツを与えるのは1歳を過ぎてから」

- ・1歳未満の赤ちゃんがハチミツを食べることによって乳児ボツリヌス症にかかることがあります。
- ・ハチミツは1歳未満の赤ちゃんにはリスクが高い食品です。
- ・ボツリヌス菌は熱に強いので、通常の加熱や調理では死にません。1歳未満の赤ちゃんにハチミツやハチミツ入りの飲料・お菓子などの食品は与えないようにしましょう。



### ●乳幼児健診を受けましょう

乳幼児健診は、赤ちゃんが順調に育っているかを確認し、健やかな成長を支援するものです。発達の違いや病気などの早期発見、お子さんの成長・発達や育児に対するアドバイス、指導を行うことを目的としています。また、集団健診では他のお母さんやお子さんとも会えるため、情報を共有する、コミュニティの輪を広げるといった機会にもなります。お住まいの地域によって定期健診の時期が異なるので、市から案内が来たら、事前にしっかり確認しておきましょう。



### 身体測定

身長・体重・頭囲・胸囲などを計測します。体重の増加など、順調に育っているか、発育状況に問題がないかを確認します。

### 問診・内科健診

#### 心音や呼吸音

聴診器をあてて心雑音がないか、また呼吸音に左右差や異常音がないかを確認します。

#### お腹

触診して異常な張りがないか、その他便秘の症状やおへそのかわき具合などを確認します。

#### 運動機能や神経系

運動機能に異常がないか、正しい反応が見られるか確認します。

#### 生殖器

そけいヘルニアや陰嚢水腫、停留精巣(辜丸)などの症状がないかを確認します。

#### その他

皮膚や視覚、聴覚などの診察も行います。

#### 診察

健診を経て、専門医から説明や質問を受けます。問診票を記入することもあります。気になることがあれば積極的に質問し、不安を解消しましょう。



赤ちゃんの成長のこと、日々の育児のことなどを医師や保健師に相談できるよい機会です。聞きたいことや心配ごとを事前にメモしておき、聞き忘れのないようにしましょう。